読書バリアフリー計画の策定について（報告）

1 概要

令和元年6月に施行された「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（読書バリアフリー法）」により、地方公共団体は、視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する計画（読書バリアフリー計画）を定めるよう努めなければならないとされたことを受け、「広島市障害者計画」の改定にあわせ、同計画を読書バリアフリー計画に位置付けた。

2 読書バリアフリー法について

(1) 目的

障害の有無にかかわらず全ての国民が等しく読書を通じて文字・活字文化の恵沢を享受することができる社会の実現に寄与することを目的とする。

(2) 地方公共団体の責務

- ・アクセシブルな書籍・電子書籍等の充実
- ・円滑な利用のための支援の充実
- ・人材の育成 など

3 広島市障害者計画について

(1) 概要

障害者基本法に基づく「市町村障害者計画」であり、本市の障害者施策全般にわたる推進の方向性と、具体的な方策を示す中長期的な計画である。

(2) 計画期間

令和6年度から令和11年度までの6年間

(3) 計画の推進及び点検

毎年度、広島市障害者施策推進協議会等の意見を聴きながら、本計画に掲げる施策の実施状況の点検及び進行管理を行う。

(4) 施策

障害者関連施策を網羅する6つの施策の柱を掲げており、各柱に関連する施策項目を整理し、具体的な事業・取組を展開することとしている。

＜施策の柱＞

- 1 虐待の防止・差別の解消と理解・交流の促進
- 2 安全・安心な生活環境整備の推進
- 3 相談支援の充実
- 4 地域生活支援の充実
- 5 発達支援と教育の充実
- 6 活躍支援の充実

4 読書バリアフリー法に基づく施策・取組について

(1) 施策

読書バリアフリー法に基づき、市立図書館における読書環境の整備を進める。

※「広島市障害者計画」が掲げる6つの施策の柱のうち、「6 活躍支援の充実」に属する。

(2) 主な事業・取組

- ア 対面朗読や録音図書及び関係機器の貸出、図書郵送貸出、国立国会図書館及びサピエ図書館のサービスの周知等を実施
- イ 大活字本や布絵本、点訳絵本、LLブック等の充実
- ウ 音声読み上げ対応の電子書籍やスマートフォンなどで音声により書籍やテキストなどを聴くオーディオブック等の導入検討
- エ 「障害者サービス担当職員向け研修」の図書館職員の参加や「対面朗読ボランティア研修会」によるボランティアの育成
- オ 令和8年度に移転再整備する中央図書館において、障害のある方など多様な人々が快適に利用できるユニバーサルデザインの採用、レイアウト等の工夫による十分な広さの通路等の確保、対面朗読室への発達障害などにより聴覚や視覚が過敏な方の利用にも配慮した機能の付加

【参考資料3】 視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律

【参考資料4】 広島市障害者計画〔2024-2029〕（抜粋）